

2024(令和 6)年度 学生生活アンケートの結果報告

2024 年 3 月 7 日
学生部
IR 室
経営企画室

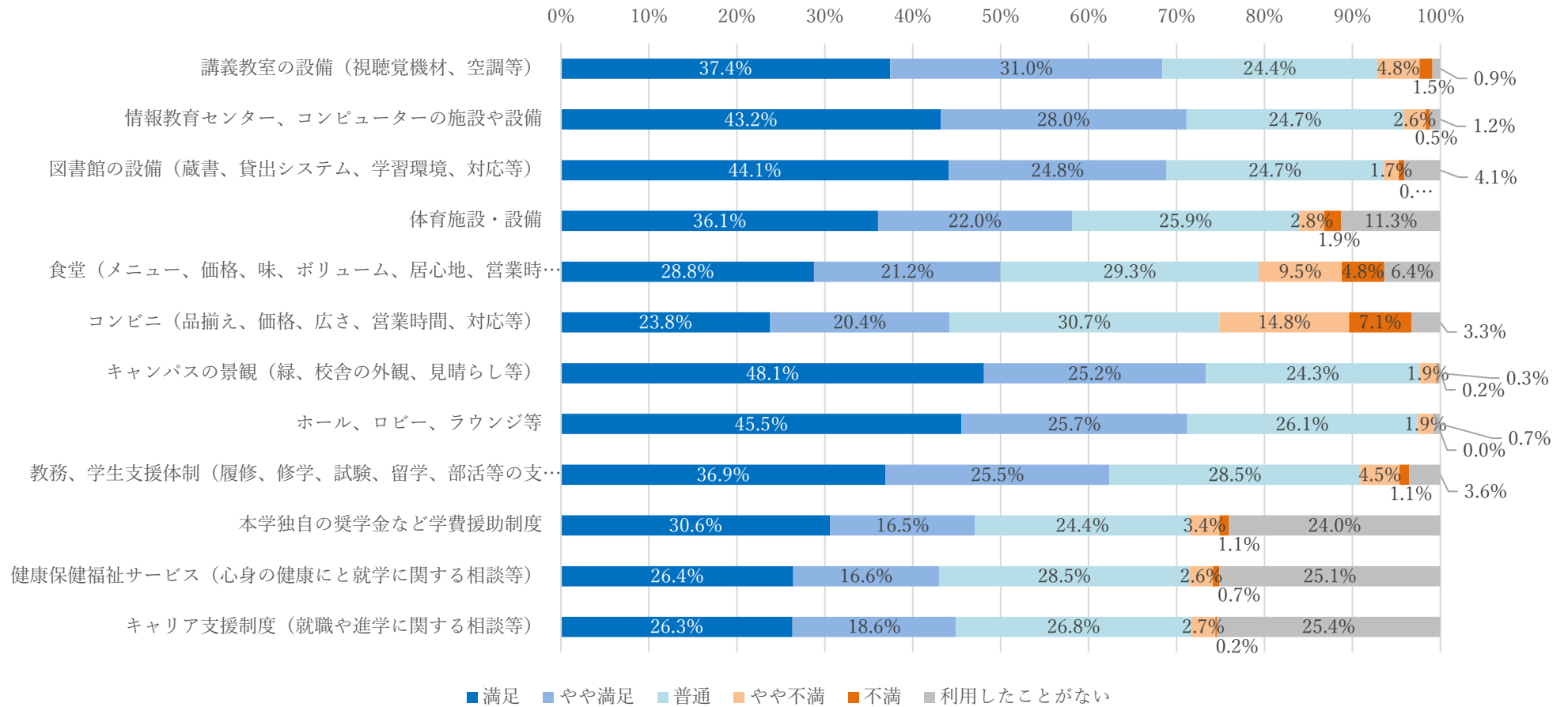
本学の全学生を対象とした学生生活アンケートを昨年 10 月 2 日から 10 月 23 日にかけて manaba にて実施しました。大学・大学院 1109 名（回答率 69.7%）、短大 155 名（回答率 92.8%）の計 1264 名（回答率 71.9%）から回答が得られました。ご協力ありがとうございました。この度その集計結果がまとまりましたので、次ページより報告させていただきます。また、本学の施設・設備や学生支援制度について、多くのコメントを頂戴しましたので、その回答も併せて掲示させていただきます。

札幌国際大学、短期大学部では、学生の皆さんの意見や要望に迅速に対応できる体制作りを進め、教育・環境等を皆さんと一緒により良いものへと改善していきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

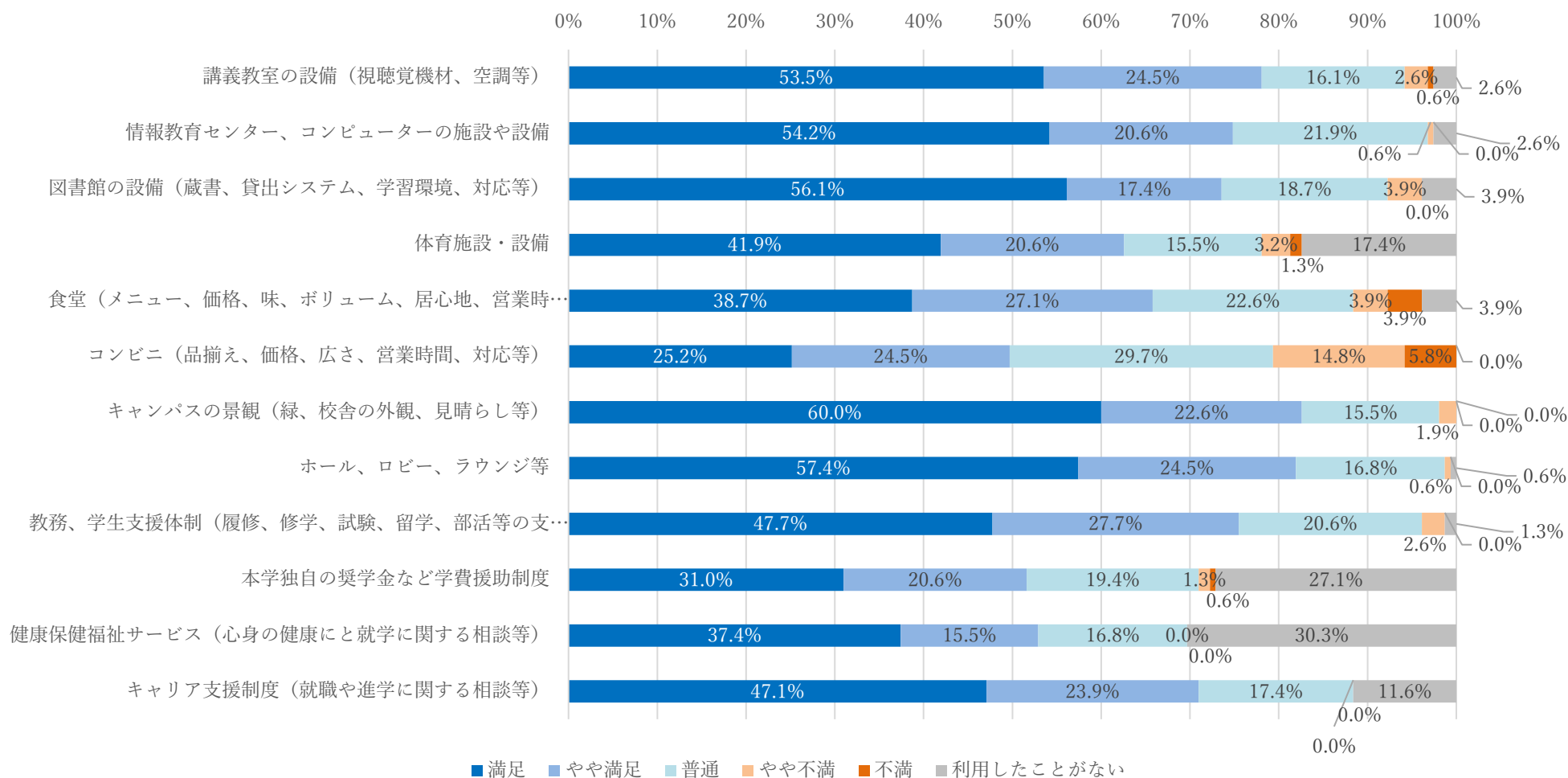
1. 学生満足度の集計結果について（大学・短期大学部）

「あなたは下記の本学設備や学生支援制度にどのくらい満足していますか」との設問にて、以下の通り本学の設備と支援制度について、①満足②やや満足③普通④やや不満⑤不満⑥利用したことがない の6択で回答頂きました

【大学】 本学設備や学生支援制度について、あなたはどのくらい満足していますか。



【短大】 本学設備や学生支援制度について、あなたはどのくらい満足していますか。



2. アンケート意見・回答について

1. 食堂に関して

- ・学食の値段が高い
- ・学食の量を増やして欲しい
- ・学食のメニューを増やしてほしい
- ・食堂の丼物のご飯が、米の量が多くて、具の量が少なく感じる
- ・学食がもう少し安くなるとありがたいです。

回答（法人）

食堂の調査結果に関しては、7～8割の方から「満足」「やや満足」「普通」の評価を頂いていますが、一方、「やや不満」「不満」を合わせると10%超となっております。食堂とコンビニは他の施設に比べると高い数値であると認識しています。食堂については料金やメニューに関し定期的に業者と打合せを行っており、メニューやボリュームの改善が図れないか打診しています。しかしながら世界的な食材費の値上がりとコロナ禍による短縮営業による大幅な売上減少も相まって、業者側からは値下げやボリュームアップは大変厳しい状況との回答です。食堂の価格を更に落とすまたは量を増やすよう業者に強く要請した場合、本学食堂の存続自体が難しくなることも想定されます。

今回いただいた皆さんの意見・要望は業者に届け、引き続きメニューその他に関して打合せを進め、少しでも改善が図られるよう努めてまいります。

2. コンビニに関して

- ・コンビニの値段を少し抑えて欲しい。
- ・コンビニは値段が高いです。
- ・コンビニの商品数を増やしてほしい
- ・値段が高い、種類が少ない。

回答（法人）

コンビニの調査結果についても、「やや不満」「不満」を合わせると約2割に達しており、コンビニは他の施設に比べると要望の高い数値であると認識しています。コンビニについても品揃えと価格等に関し食堂と同様に業者と打合せを行っています。しかしながら、仕入価格・人件費を中心としたコスト上昇により、こちらも値下げは厳しい状況との回答です。学外にあるコンビニエンス・ストアと同じ価格や品揃えも、仕入規模や設置スペースの関係で難しいと考えます。

業者との打合せの中では、引き続き皆さんの意見を伝え、少しでも改善が図られるよう努めてまいります。

3. 食堂・コンビニの両方に関して

- ・現金払い以外も導入してほしい。
- ・電子マネー使えるようにしてください

回答（法人）

食堂とコンビニの両方にまたがる意見も頂いています。キャッシュレス決済については、店舗側の運用コストもあり導入は難しいのが現状ですが、今後の検討課題とさせていただきます。

食堂とコンビニに関しては、他の施設に比べ数多くのご意見が寄せられ、改めて学生の皆さんの関心の高さを認識しました。ありがとうございました。参考とさせていただきます。

4. 自動販売機に関して

- ・自動販売機を全階につけて欲しい。
- ・カップ麺・食べ物の自販機を増やしてほしい。
- ・アイスの自販機を置いてほしいです。

回答（法人）

自動販売機を新設するためには一定の「利用見込」が求められることから、当面現行の台数を維持する予定です。皆様のご意見は今後の参考にさせていただきます。

5. 体育館・トレーニングジムに関して

- ・トレーニングルーム・体育館にクーラーをつけて欲しいです
- ・体育館が暑いから冷房がきくようにしてほしい。

回答（法人）

体育館・トレーニングジムの冷暖房設備は現状予定ありません。その他スポーツ施設の整備を含めて、他大学・自治体の設備整備状況踏まえ、今後の設備計画の参考とさせていただきます。

6. シャトルバスに関して

- ・5 講目終了後のシャトルバスを増便してほしい。
- ・シャトルバスを増便（時間・本数）してほしい。

回答（学生部・学生課）

シャトルバスの増便を希望するご意見が複数寄せられています。特に5 講目終了後の増便の希望がありました。本件については、本学のバス保有台数、運転手の人数、運転手の勤務時間に限りがあり、容易に増便することが難しい問題です。

2025 年度はクォーター制となり、授業時間が 105 分になります。授業時間の変更に伴い、時間割が変更されるため、バスの運行時間と授業時間を考慮し、皆さんの利用しやすい時間に変更を検討します。この変更により、シャトルバスの利用状況が改善されることが予想されます。

なお、2025 年度はクォーター制移行に伴うシャトルバスの利用状況を検証し、運行時間等は 2026 年度以降に再検討いたします。

7. パソコン、Wi-Fi 環境等に関して

- ・ICT コーモンズに印刷しに行ったらパソコン何台がよく働かない場合があったので、それに気を配って

欲しい。

- ・ Adobe を各自の PC で使えるようにして欲しいです。

回答（情報システム課）

このたびは、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございます。

ICT コモンズのパソコンの不具合について、ご不便をおかけして申し訳ございません。より快適にご利用いただけるよう、定期的な見回りを強化し、機器の状態を確認するよう努めてまいります。

また、パソコンが正常に動作しない場合は、情報システム課にて対応いたしますので、お手数ですが状況をお知らせいただけますと幸いです。具体的な不具合の内容や発生したパソコンの場所などをご共有いただければ、より迅速に対応が可能となります。

また、情報教育センターでは、多くの学生が授業や課題作成で汎用的に利用する Microsoft Office 製品（Word、Excel、PowerPoint など）については、在籍中に無償でご利用いただける環境を整えております。一方で、Adobe 製品をはじめとする特定の授業や専門的な用途向けのソフトウェアにつきましては、大学全体で一律に提供することが難しく、授業ごとに必要に応じて準備いただく形となっております。特に Adobe 製品は高額なため、すべての学生に対して一律で提供することは現実的ではない状況です。Adobe 社が提供する学割プランなどもございますので、必要に応じてご活用をご検討ください。なお、情報教育センター4 階には、高性能のパソコンと、Adobe 製品を利用できる環境を整えていますので、担当教員へご相談いただければと思います。

引き続き、快適な学習環境の提供に努めてまいりますので、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

8. 図書館に関して

- ・ ライティングラボや図書館等の勉強できるスペースにおいては、閉館時間を長くして欲しいと思います。
 - ・ 絵本の方の図書館が5 限終わりに閉まっているので19 時くらいまでは空けておいて頂きたいです。
 - ・ 絵本のある方の図書館が、夏休み中や授業終わりにやっていないことが多く、借りることができなくて困ったので営業時間を延ばしてほしいです。
 - ・ 絵本等がすぐ終わってしまうので授業終わりに行けないし、夏休みに利用できなかった。
 - ・ 保育士等の資格を取りに来ているのに、絵本や紙芝居の数が少な過ぎる。
- 気軽に借りることができて、絵本や紙芝居の勉強ができる環境を整えてもらえたら助かります。

回答（図書館）

図書館へのご意見を頂きありがとうございます。まず閉館時間についてですが、大学の校舎使用時間は、21 時 30 分となっております。図書館本館は、講義期間の平日は校舎施錠時間ギリギリの 21:30 まで夜間開館をしております。また、土曜日も 16 時 30 まで開館しております。空き時間や夜間開館時間を学習時間として有効にご利用頂ければと思います。

また絵本・第二閲覧室に関してのお問合せありがとうございます。第二閲覧室の夜間開館、土曜日午後開館は、現在の人員・体制面で厳しい状況にあります。なお、夏休み期間2か月のうち2週間のみ「蔵書点検・書架整理」のため、本館・第二閲覧室ともに、休館とさせていただきます。

これは、館内にある資料をすべてチェックし、貸出中の確認、行方不明の資料はないか、正しい書架の位置に配架・整理されているかを管理し、皆さんが利用しやすいようにするためどうしても必要な業務です。どうぞご理解くださいますようお願いいたします。その期間以外は、平日17時まで毎日開館をしておりますのでぜひご利用ください。

本学の絵本の蔵書冊数は、約5400冊、紙芝居は約170冊と他学に比べて蔵書数は多い方です。絵本は毎年200冊以上購入、紙芝居も来年度に向けて50冊程度追加購入しております。ご希望の本があれば、ぜひ「えほんのおへや」で直接探していただくか、OPAC(蔵書検索)で検索ください。またリクエストも受付ております。

なお、紙芝居の練習は「えほんのおへや」内にある「読み聞かせコーナー」と紙芝居台を利用して練習頂ければと思います。こども園の園児さんたちも「読み聞かせコーナー」を利用しております。

ご不明な点は、ご遠慮なくカウンタースタッフにご相談ください。

9. キャリア支援センターに関して

- ・キャリア支援は相談したいけれど誰を指名すればいいのかまだわからないため、最初に指名せずに面談のようなものがあると利用しやすい。
- ・キャリアに関しては連絡が遅く、就学練習や対応が迅速にしていただけなかった。

回答(キャリア支援センター)

キャリア支援センターでは、職員に気軽に声をかけてください。職員からも声をかけさせていただきます。

例年10月からは、次年度就職活動を控える大学3年生・短大1年生全員と(幼児教育系学科除く)進路面談を行っております。進路面談については、ランダムにキャリア支援センター職員と面談を実施しております。その後は相談者の資質に応じて、例えば「優しい職員が良いか」「厳しい職員が良いか」など適宜担当職員を変えています。まずはキャリア支援センターにお越しください。

また、manabaの「キャリアに関する手続・申込」からも相談予約が可能です。その際に「キャリア支援センター職員の紹介」もあわせて見ることができますので参考にしてみてください。

また、「連絡が遅く、就学練習や対応が迅速にしていただけなかった」とのこと。大変申し訳ありませんでした。ご連絡方法、時期やタイミングによってはやむを得ず、遅くなる場合もございます。

キャリア支援センターとしては迅速な対応を今後も心がけていきますが、遅いと感じた際はお手数ですが再度ご連絡いただきますようお願いいたします。

なお、面接日の前日に急遽「明日面接があります」という状況では対応が難しく、余裕をもったスケジュール管理を望みます。エントリーシートや履歴書の添削依頼についても同様です。キャリア支援センターでは、就職活動の準備についてスケジュール作成からサポートしますので気軽に相談してください。

10. 自動車通学や駐車場の設置に関して

- ・車通学を許可してほしい。
- ・自家用車での登校を認めて欲しい

回答（法人）

本学では学生の通学時の安全を最優先に考えています。そのため開学以来、自動車での通学を認めておりません。本方針は今後も変更を予定していませんので、学生向けの駐車場設置の予定もありません。通学に関して、特段の事情のある方は学生課にご相談をお願いします。

11. 喫煙所の設置に関して

- ・喫煙所を作ってほしい。
- ・路上喫煙防止の為に、喫煙所を設けて欲しい。

回答（法人）

本学は、大学施設として改正健康増進法の趣旨に基づき、敷地内での喫煙スペースの設置予定はありません。以前より本学では本人の喫煙または他人の受動喫煙による健康への影響を考え、学内での喫煙を全面的に禁止しており、今後もその方針に変更はありません。

12. エレベーターの設置に関して

- ・6号館にエレベーターを設置してほしい。

回答（法人）

エレベーターの設置については、バリアフリーの観点から今後の検討課題としております。貴重なご意見として設備更新の際の参考にさせていただきます。

13. 課外活動に関して

- ・スポーツ保険に関しての対応が納得いかない。
- ・部活動について、技術的な指導が必要な文化部に関しては指導者に対し交通費程度でも構いませんので何かしら手当を支給していただきたいです。

回答（学生部・学生課）

本学在籍者は、学研災に加入しております。学研災の保険適応基準は一律で定められており、個々のケースに合致するかは保証でき兼ねます。そのため、必要に応じて、任意保険に加入していただくことを推奨いたします。

顧問以外の技術的な指導者に対する手当などについては、まずは当該クラブの顧問にご相談ください。その後、顧問から学生部、学生課にお問い合わせください。

14. 奨学金に関して

- ・給付の奨学金を増やしてほしい。
- ・一人暮らしの人や学校の奨学金でも複数受けられないものがあるので、空きがあるなら受けられるよう

にして欲しい。

- ・入学した時の点数などでもう少し援助があれば助かると思っています。
- ・留学生対象の奨学金があまりありません

回答（学生部・学生課・入試企画室・国際センター・国際課）

令和5年度から、本学独自の給付型奨学金制度として、在学生向けに「生活応援奨学金」「学業応援奨学金」「卒業応援奨学金」を施行しました。募集要項をご確認いただき、ご活用ください。なお、不明な点がございましたら、学生課にお問い合わせ、ご相談ください。

本学の奨学金入学支援制度（一般選抜入学・大学入学共通テスト利用選抜）については、募集人員の40%程度を候補者としておりますが、これは他学と比較しても対象者は多い状況にあり、授業料減免率も他学と比較して遜色のない制度になっています。また入学時の点数によっては、大学では最大4年間50%減免になりますので、より多くの支援が受けられる可能性があります。

また留学生の奨学金に関して、ご意見いただきありがとうございます。たしかに、留学生対象の奨学金の案内はあまり多くありません。

しかし、在留資格が「留学」の私費外国人留学生は、所定の手続きをすることで授業料35%の減免が4年間（短大生であれば2年間）適用されます。入学の時点では入学金50%の減免も適用されています。この減免適用により、通常の学費を支払う日本人学生よりも経済的な負担は軽減されています。また、大学独自の奨学金や減免は重複採用が認められていないため、留学生だけが不利になっていることもあります。

国際センター・国際課では、留学生の経済的な負担がさらに軽減されるよう外部の奨学金などの情報を常に入手し、奨学金採用枠の獲得に力を入れています。また、奨学金採用のためには様々な書類の提出が必要ですが、各種書類の準備や小論文の添削、面接選考の対策など広くサポートしています。

ポータルサイトなどで留学生向けの奨学金募集情報は適宜案内していますので、気になる奨学金があればぜひチャレンジしてほしいと思います。また、自分で調べた奨学金でも応募に関する手続きのサポートをしますので、必要があれば国際課までご相談ください。

15. 空調設備に関して

- ・6号館が寒いのでもう少し暖かくしてほしいです
- ・教室以外の暖房があまり感じないです。
- ・空調がきいているときときいていないときの差が激しいです。
- ・冬の2号館1階が寒すぎる。

回答（総務課）

教室等の暖房について、「寒い」「ムラがある」「部分的に暑い」といったご意見をいただいております。本学の暖房設備についてご説明いたします。

2号館はオール電化のためエアコンによる暖房を行っておりますが、2号館以外の建物は重油ボイラーによる集中暖房を採用しております。集中暖房は建物全体を一斉に暖める方式であるため、部屋ごとの温度調整が難しいという事情がございます。

今シーズンも例年通り、授業開始時間までに教室が暖まるよう、早めに暖房稼働させております。また、特に冷え込みが厳しく、集中暖房が追いつかない場合には、都度対応として一時的にエアコンを併用することもございます。暖房に関するご相談は、授業の担当教員や事務局までお寄せください。

皆様からのご意見を真摯に受け止め、引き続き適温の維持に努めてまいります。

16. 電子レンジの増設に関して

- ・電子レンジを6号館や、グローバルコモンズなどにも設置していただきたいです
- ・電子レンジ増やした方がいい。
- ・電子レンジが混むのでもう少し数をおいて欲しいのと、2階だけではなくて各階にあれば助かります。

回答（総務課）

今回のアンケートでは電子レンジに関して増設の要望が複数ありました。そのためにまず電気供給容量を調査して、令和7年2月、2号館2階ホールに2台（追加）、6号館2階ホール1台（新規）の電子レンジを設置しました。これにより昼食時の混雑が緩和されるものと考えています。どうぞご利用下さい。

17. 学生サポートセンターに関して

- ・サポートセンターの相談員の距離感(肩や頭に触れる等)を見直して欲しい。
- ・カウンセラーは本当に役が立たないです。あんなに対応が変な人は初めてでした。自分は悩みを打ちあけにいったのに、全然お話をきいてくれなくてとてもショックを受けました。

回答（学生サポートセンター）

このたびは、学生サポートセンターの対応に関してご意見をいただき、ありがとうございます。相談員との距離感について、ご不快な思いをさせてしまった可能性があるのであれば、お詫びいたします。今後は、相談員が適切な距離感を保ち、皆さんに安心してご相談いただけるよう、徹底してまいります。なお、相談者の方の体調不良や緊急時には、安全を確保するために身体を支えるなどの対応を行う場合がございますが、その際もできる限り配慮を怠らないよう努めます。

また、悩みを打ち明ける大切な機会であるにもかかわらず、お話を十分に聞いてもらえなかったと感じられたこと、申し訳なく思います。学生サポートセンターでは、相談者の方が安心してお話しできるような心がけておりますが、今回のご意見を受け、対応について改めて見直し、より丁寧な傾聴を徹底してまいります。

各々相談員には異なるアプローチがありますので、もしお話しづらさを感じた場合は、他の相談員にご相談いただくことも可能です。相談では、必ずしも望んだ答えが得られるとは限らない場合もありますが、寄り添った対応ができるよう努めてまいります。

今後も、より安心してご相談いただける環境づくりに努めますので、何かお気づきの点がございましたら、

お知らせください。貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

18. その他要望について（総務課）

- ① 5 講日以降に勉強で大学内を利用しているときに電気を消さないでほしい
- ② 1 号館壁側歩行者通路への車両駐車について、歩道確保のための工夫をしてほしい
- ③ 学内のトイレに消臭剤をおいてほしい。
- ④ 教室の照明・エアコンの消し忘れの注意喚起をしてほしい。

回答（総務課）

- ① 省エネルギー及び節電の取り組みの一環として、授業が行われていない教室や長期休暇期間中には一部の照明を消灯しております。お気づきの点がございましたら、事務局までご連絡をお願いいたします。
- ② 安全第一の観点から歩行者車両分離について、学内ポータル等を通じて周知いたします。
- ③ トイレ換気は各施設の換気扇で行っております。状況により時間を要する事もありますが、換気により臭気は解消されますのでご理解のほどよろしくをお願いいたします。
- ④ 日頃より節電対策にご理解とご協力をいただきありがとうございます。節電対策の一つとして、照明スイッチの横に節電協力の掲示をしておりますが、使用していない部屋の照明やエアコンの消し忘れが見受けられます。今回ご指摘を受けた事案の減少に向けて、今後も掲示を含め、様々な角度から節電対策の検討を進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

また、教育や学びに関しては以下のような意見・要望（集約・抜粋しています）がありました。回答と合わせてご確認ください。

教育課程に関する要望

- ・ 今後、外国人労働者などもさらに増え英語での会話が社会でも増えると思うのでもう少し英語でのディベートや話し合いなどをする授業を作って欲しい。
- ・ パソコンの授業を増やしてほしいです
- ・ Illustrator など adobe を使う仕事が増えているため、その授業や支援体制をお願いしたいです。
- ・ もっと多くの言語の授業が欲しい。
- ・ 資格取得に向けての授業が多く欲しい(簿記や FP など)
- ・ 心理学検定を取得するための授業がありましたら、いいなあと思いました。
- ・ カリキュラムがかなり混雑している印象なので、専門科目以外の科目も取れるように配慮していただければ幸いです。

(回答)

この度は、授業に関する貴重なご意見をありがとうございます。

英語学習については、正課外で学習する機会として、「SIU Café」で様々なテーマを設定し、英語・韓国語・中国語で話をする機会を設けています。また、マンツーマンでの英語オンライン学習も推奨しており、費用も半額大学から補助する制度もありますので、ぜひご活用ください。

また、PC スキルについては、「AI・データサイエンス」「表計算」「文書作成」「IT パスポート」等の授業科目を設定していますが、さらに学習したいことがありましたら、「クリエイティブラボ」のハイスペック PC の活用もぜひ検討してみてください。詳細は教務課にご相談ください。

その他、資格や検定への対応につきましては、今後も学生の皆さんのニーズに応じて、カリキュラムや支援体制を改善していきますので、遠慮なく教務課にご相談ください。

クォーター制・105分授業の導入に関する要望

- ・ 来年度からの4分割制の授業のやり方が、嫌です。
- ・ 来年から105分制になりますが、集中力持続のための休憩は挟んで欲しいと思っています。
- ・ クォーター制の授業を廃止していただきたいです。

(回答)

授業時間については105分教員が話すだけの授業にならないよう、工夫を取り入れる予定です。現在、そのための研修や勉強会を教員間でしています。また、クォーター制のメリットを活かした学修プログラムの展開も検討しています。

制度変更に伴う不安や戸惑いについては10月に実施したアンケートからも十分理解しておりますので、

学生の皆さまのご意見を踏まえ、より良い運営を目指してまいります。

遠隔授業に関する要望

- ・オンライン授業について、せっかくコロナでシステムを構築し、実施出来る環境にあるにもかかわらず、体調などの事情がある学生などに活用されていない。
座学など、対面である必要がなく、たくさんの学生が教室に集まって講義を受けるよりも、任意の環境で受けることによって集中して取り組める講義がたくさんあると感じている。今後の入学生のためにも、有効に活用してもらいたい。
- ・冬の通学が心配です。
オンデマンドやオンラインを有効に使ってくれたら有難いです。
- ・手術などで入院する際、オンラインで授業に参加できるような対応をした方が良いのではないかなと思います。
- ・前項にも記入したが、オンライン授業の積極的な活用を求める。体調など事情がある学生でも、オンラインであれば学べる、もしくは他の学生のマナーなどに左右されずに授業が受けられるなどの利点が多くあると思う。せっかくコロナでシステムを構築し導入したにも関わらず、ほぼ無かったことになっていると感じる。活用しない納得できる理由があるのであれば、提示していただきたい。
- ・オンライン講義が増えるのなら、専用のアプリとかあった方がいい気がする。
- ・教員のやむを得ない理由がない限り、オンデマンド授業は実施させないでください。また、教務課からの指示を従わない授業を行おうとしている教員がいます。そのように講師がやらないのであれば、しっかりと授業を担当する講師を選んでください。

(回答)

来年度から全て遠隔授業で実施する科目を増やしていく予定です。オンデマンド型授業は新しいソフトを導入し、皆さんの視聴履歴などを確認できる仕組みを活用します。

入院や体調不良によって、遠隔授業を受講したいという希望がある場合は、まずは教務課までご相談ください。基本的には療養に専念すべきケースが多いと思われませんが、場合によっては何かしらの配慮ができるかを検討します。

公認欠席制度に関する要望

- ・公欠の条件が厳しい。

(回答)

本学では公認欠席を欠席に含めて3分の2以上の出席を求めています。

来年度からも公認欠席の事由は変わりませんが、クォーター制導入にあたり、学生から授業担当教員へ

所定の手続きによって補充措置を願い出ることができ、担当教員が認めた場合のみ出席扱いとなるよう公認欠席の制度を変更します。しかし、授業内容等によっては補充措置が難しいこともあるため、必ずしも認められるわけではなく、その都度担当教員が判断します。

授業への不満など

- ・聴くだけの授業がおおく疲れる。
- ・先生が話すだけの授業やめてほしい。頭に何も入らない。ただ先生が喋ってるって授業が多い。
- ・授業の内容はどっちかというとはほとんどは自分でも検索して調べて知ることができます。しかし、その内容の考え方と正解や議論を求めることが一人でできないため、全て講義の時間よりも学生の自己力を向上させる授業を増やしてほしいです。
テストのフィードバックが少ないと感じた授業もいくつかありました。学生へのフィードバックをしっかりとしてくれることを期待します。
- ・グループワークを増やしてほしい
- ・マスクをされる先生方は特に声が聞こえにくいことが多いので、なるべく大きな声でくっきりはっきりゆっくりお話しいただけると助かります。
- ・教科書を購入する授業はもっと教科書を使ってほしいです。勿体ないと感じる時があります。
- ・あまり興味が持てなく、何を学んでるのだろうと思う時がある。
- ・やることをやってるかやってないかがすごい目に見える形になるのでおもしろい
授業を一年生から受けてたら4年になったら少ないし逆もある
- ・授業が下手くそ？学生を意識した授業をしてほしいです。
- ・教科書を使わないのにも関わらず、購入をお願いするのは違うと思います。使うなら沢山使ってほしいし、少しだけならプリントで大丈夫だと思います。お金がかかるのにも関わらず、あまり使わない教科が多いです。
- ・レジュメと同じ内容をスクリーンに出して、それを詳しく説明するという授業は眠くなるためやめてほしい
- ・代わり映えのない内容の授業が多いのでつまらないことが多い
- ・テストが多すぎて追いつかなくなります
- ・ずるしてる人は単位をもらえないようにしてほしい
- ・人としてという所をもっと教えた方がいいと思います。

(回答)

この度は、授業に関するご意見をお寄せいただきありがとうございます。皆さまがより充実した学修体験を得られるよう、以下の点に取り組んでまいります。

1. 授業方法の改善について

(講義形式の見直し)

単に教員が一方的に話すだけでなく、ディスカッションやグループワークを取り入れ、主体的に学べる授業を増やします。特に、授業内容を検索で調べられるものに留めず、考え方や議論を通じて理解を深める機会を提供します。

(授業の工夫)

スライドやレジュメの読み上げに終始しないよう、具体例や応用的な説明を取り入れることで、より興味を持てる内容を目指します。

2. テストとフィードバックについて

(フィードバックの充実)

テストや課題については、評価基準や具体的なフィードバックをできる限り明示し、次の学修に活かせるようにします。

(評価のバランス)

テストの頻度についても見直し、学習負担が過度に集中しないよう調整します。

3. 教材の使用について

教科書は授業の内容と連携させ、使用頻度を増やすよう努めます。使用頻度が低い場合は、プリントなど代替手段も検討し、学生の負担軽減を図ります。

学生にとって良好な授業環境を整備・維持することは、教員の義務です。真面目に授業を受けている学生への妨害になるような行為には厳しく対応するよう徹底いたします。問題があるときは、自分で対応せずに、その都度アドバイザー教員か教務課へ相談してください。

今後も、学生の皆さまの声を反映し、より効果的で魅力ある授業を提供してまいります。授業に対する要望や納得ができない場合がありますら、その都度教員か教務課へ相談してください。

履修者数の制限がある科目に対する要望

- ・ 日本文化の履修を高学年の人を優先してほしい
- ・ 抽選で履修が決まる授業で、単位を取り切れていない上位学年が優先的に単位を取れるということが、若干腑に落ちません。

(回答)

履修に関するご意見をいただきありがとうございます。履修者数の上限が決められている科目については、厳正な抽選を行っていますが、卒業要件にかかわる科目については、クラス展開を増やすなどして皆様に不利益にならないよう学修機会を提供する方法を検討いたします。

時間割、年間スケジュール、諸連絡に関する要望

- ・必修の授業を5限まで入れないでほしいです。秋学期は毎日5限まで入っているため、バイトなどをする時間がなくなり生活費が稼げず困ります。
- ・諸連絡など、もう少し早めにしていただきたいです。
- ・教科書購入すぐじゃなく夏休みとか事前に知らせて欲しい
- ・選択肢にはなかったですが、一番不満なのは授業時間割と履修時間の公開がとても遅いと感じた。学生にとって、希望授業と必須の調整やアルバイト調整を早めにはできないため、とても不便でした。時間割の公開することはとても重要だと感じるため、これは見直して欲しいです。
- ・教務課の連絡が遅い
- ・履修状況に対する警告や注意がもっと早い段階で行われていたら救われていた人がいると感じたため。
- ・夏休みを少し短くして冬休みを長くしてほしいです

(回答)

大変貴重なご意見ありがとうございます。

来年度の授業時間割について、卒業要件の必修科目はできる限り3講目までに設定するよう調整しています。しかし、授業科目数やカリキュラムの関係上、完全に調整することが難しい場合がありますことご理解いただきたくお願いいたします。

授業時間割や教科書等の諸連絡について、ご不便をおかけし申し訳ございません。様々な要素が関係してこのような時期になっているのですが、これまで以上に早くご案内できるように鋭意努力をしております。

来年度の年間スケジュールについては、105分授業の導入と定期試験期間の廃止により、これまでよりも長期休業期間が長くなっていますので、年間計画表でご確認ください。

定期試験に関する要望

- ・テスト期間など、予定を調整しないといけない連絡事項は早めに連絡して欲しいです。
- ・定期試験の再試験対象を拡大して欲しい。時間を間違えて試験を受けられず、単位を落としてしまったことがあるため、再試験対象の拡大、ないし単位認定条件の柔軟な対応案が増えて欲しいと考えている。

(回答)

来年度から定期試験期間を廃止します。そのため、既に公開しています年間計画表の授業期間を確認することで、スケジュールの調整をしてください。

定期試験期間はなくなりますが、各授業科目で期末試験を授業期間終了後に行う場合がありますので、シラバスで確認をお願いします。

その他

- ・相談出来るところを増やした方がいい
- ・クラスの間関係性がよりよくなれば、心の負担がごっそり減ります。ごっそり
- ・季節が寒くなる10月中旬とか1月下旬とか季節変わり目の時に、風邪と鼻水を引いている人はいませんか？と outlook で呼び掛けてから、完全になおってから学校にきてほしいです。と声をかけてほしいです。それはなぜかというと学校内でインフルエンザが流行ってしまうのと、去年私は風邪を引いてしまったため、少しは気遣いが必要なのではないかと推測をしました。
- ・全然ないです！いい授業だと思います

(回答)

本学では、学生の皆様が安心して学び、充実した大学生活を送るために、学修に関する支援に限らず、健康や人間関係に関することや、奨学金など経済的なことに関する相談窓口があります。困ったことがあれば、大学の教職員が皆様のサポートを行いますので遠慮なくご相談ください。